

令和２年度一般会計決算の概要

● 歳入（６３８億５６２３万円）

新型コロナウイルス感染症対策の影響が大きく、国庫支出金全体では１５４億２２１９万円の増収となりました。

また、定住人口の増加などに伴い、市税全体では２億４３６２万円の増収となりました。

その他、県支出金は１０億１９０６万円、地方消費税交付金は５億１１７２万円の増収となる一方、市債は８億７９４０万円、地方交付税は３億１５７９万円の減収となり、歳入の決算額は、前年度比１５５億８６２７万円、３２．３％の増となりました。

● 歳出（６１８億２０５９万円）

第２次基本計画に則り、オーガニックなまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、防災行政無線のデジタル化整備、消防および救急車両の整備、民間保育園の施設整備支援、小中学校GIGAスクールに係る整備、近隣３市との共同による広域廃棄物処理施設の建設に向けた事業契約締結などに取り組みました。さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金給付事業などを実施した結果、歳出の決算額は、前年度比１５７億３７８１万円、３４．２％の増となりました。

● 収支の差し引き額

令和３年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、１３億５０３０万円の黒字となりました（実質収支額のうち、１０億５０３０万円は財政調整基金へ積み立てました。）。